



22世紀に緑の遺産を贈る
県民運動
にいがた「緑」の百年物語

平成28年度

事業報告書

公益社団法人 にいがた緑の百年物語緑化推進委員会

事業報告

当委員会は、「にいがた緑の百年物語県民運動」及び「緑の募金」の推進と事業展開に、公正・公平・透明性をもって取り組んだ。事業実施に当たっては、収支相償を財政運営の基本として、会員とともに、緑の募金の拡大による財源の確保と予算執行の効率化を図り、円滑な組織・事業運営に努めた。

また、新潟県、市町村等行政機関との連携を図りつつ、企業や緑化団体等広範囲な県民の協力を得ながら、以下に掲げる重点事項を中心に、地域組織の活動を推進し、緑の募金の財源を基にした企業・団体と地域と共に地域の拠点となる協働による森づくり、被災地の緑の復興活動の支援、次世代を担う子どもたちの育成、ボランティア団体の緑化活動等を支援した。そして、「にいがた緑の百年物語」県民運動の一層の推進を図り、これまで広がった「緑の守人」の輪を広げ、子供から大人まで世代を超えた多くの県民の理解を得ながら県民参加の森づくりを推進した。

○平成28年度の重点事項

- ①組織基盤の確立と地域活動の推進
- ②県民運動と緑の募金の普及啓発及び緑の遺産森づくりの推進
- ③次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進
- ④心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成

(重点事項別予算執行状況)

(単位：千円)

	予算額 (A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
1 組織基盤の確立と地域活動の推進	3,000	2,760	△241	
○緑の守人(会員)拡充強化	250	151	△99	
○地域活動の推進	2,750	2,608	△142	

(1) 会費収入及び会員加入状況について

平成28年度会費目標額：12,500千円(平成27年度実績額:12,374千円)
 会費実績額(3月末現在)：12,348千円(目標達成率:99%)

表1 会費収入及び会員加入状況

(単位：千円、人)

区分	会費収入			会員数			備考
	計画A	実績B	B-A	計画A	実績B	B-A	
正会員	9,700	9,616	△84	610	595	△15	
賛助会員	2,800	2,732	△68	515	499	△16	
合計	12,500	12,348	△152	1,125	1,094	△31	

※資料：1-2 法人・個人別内訳

(2) 地域活動の推進

- ・県内全域に設置した地域組織の活動強化を図った。
- ・地域緑化活動の先導役である地域推進員の活動を支援した。

(単位:千円)

	予算額(A)	決算額 (B)	増減(B-A)	備考
2 県民運動及び緑の募金の普及啓発と緑の遺産森づくりの推進	10,360	6,447	△3,913	
○県民運動及び緑の募金の啓発活動	2,260	3,566	1,306	
○緑の遺産森づくり及び植樹祭等の開催	4,600	1,505	△3,095	
○地域の森づくり	3,500	1,376	△2,124	

(1) 県民運動の普及啓発

会報やイベント情報、ホームページなどによる情報発信力を強化し、県民運動の推進と啓発活動を実施。

① 情報の発信

- ・会報誌：春号（新会報第 9号） 「緑が育つ、人が育つ 春」
：秋期（ 〃 第10号） 「緑が育つ、人が育つ 秋」 を発刊
- ・春期イベント情報発行： 121(108)件
秋期イベント情報発行： 142(115)件 掲載 ※（ ）は前年度実績
- ・メディア（新潟日報社企画「にいがた自然楽校」）と連携した緑化団体の活動情報の発信、併せて県民運動の啓発と会員募集活動を実施。
- ・林業情報誌月刊「林業にいがた」の紙面を活用し、県民運動の情報を提供。

② 森林セミナーの開催

- ・日時・場所：平成28年6月17日（金）新潟県自治会館講堂
- ・講演：「後世に語り継ぐ緑の遺産 越後の天然杉」
講師：山田弘二氏（NPO法人お山の森の木の学校 理事）

(2) 緑の遺産森づくり植樹活動の開催

- ・日時：平成28年11月5日（土）9:00～
- ・場所：胎内市中村浜・笹口浜地内海岸林
- ・参加者：胎内市民、四季を愛する会をはじめとする300人

(3) 地域の森づくりの推進

県内各地域の地域組織が主体となり其々の地域で活動する団体と連携し、県民運動の啓発につながる地域の森づくり事業の実施支援。

(単位:千円)

	予算額(A)	決算額 (B)	増減(B-A)	備考
3 次世代につなぐ県民参加の森づくりの推進	30,140	26,051	△4,089	
○各種団体からの受託事業等による緑化活動支援	540	1,349	809	
○寄付金によるにいがた森づくり事業	450	344	△106	
○緑の募金による緑化助成事業（一般）	27,000	22,041	△4,959	
○緑の募金による企業の森づくり（特定）	2,000	2,190	190	
○緑の募金による特定助成事業推進費（特定）	150	127	△23	

(1) 緑化活動の推進

各種団体等の受託事業や緑の募金、寄付金等を原資とした助成事業により、ボランティア団体等の森林整備活動及び緑化活動を支援。また、企業等からの寄付金(使途限定緑の募金)を受け、企業等と地域との協働による「企業の森づくり」を支援。

(2) 緑化助成事業の実施状況

事業名	事業内容	平成28年度実績	前年度実績	資料No.
ゴルファー緑化促進事業	(公社) ゴルフ緑化促進会交付金による助成事業	助成件数 1件	助成件数 1件	2-1
ボランティア保険料助成事業	緑化活動のボランティア保険料を助成	18件	18件	2-1
にいがた森づくり事業	啓発効果の高い森づくり事業	2件	2件	2-5
緑百年緑化助成事業小計		21件	21件	
「緑の募金」森づくり事業	学校林の整備や地域住民及び緑化団体等による森づくり活動を助成	101件	100件	2-2
「緑の募金」記念植樹事業	集会施設、公園等で地域住民が参加して行う記念植樹用苗木を助成	133件	137件	2-3
企業の森づくり事業	企業協賛募金による企業の森づくり及び企業協賛の森づくり事業	6件	6件	2-4
災害復興緑の支援事業	使途限定「災害復興緑の募金」を原資とした緑の復興支援活動を助成	—	2件	—
地域の森づくり事業	地域組織主体に構成団体と連携し、県民運動の啓発につながる活動を助成	5件	7件	2-6
緑の募金緑化助成事業小計		245件	252件	
緑化助成事業 計		266件	273件	

(単位：千円)

	予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
4 心豊かな子供たちの育成とボランティア精神の醸成	16,000	15,844	△156	
○緑の募金の普及啓発と募金活動の推進	9,000	8,915	△85	
○緑の少年団等の育成支援	7,000	6,929	△71	

(1) 緑の募金活動の実施

ア 募金活動の成果

平成28年度緑の募金目標額：70,000千円（平成27年実績額：62,050千円）
 平成28年度緑の募金実績額：60,336千円（対前年実績比97.2%）

イ 募金活動状況

春 4月1日～ 5月31日 県下一円

秋 9月1日～ 10月31日 企業協賛募金、緑化イベント等

① 春期「緑の募金」活動

春期募金は、家庭募金を柱として、学校募金、職場募金など多様な募金活動を展開。ポスター・チラシ等募金資材の活用、新聞、BANANA（新潟駅広報媒体）、広報誌等の普及啓発活動により広く県民に対し運動の周知に努めた。

② 秋期「緑の募金」活動

9月1日から始まった秋期「緑の募金」は目標額を16,000千円とし、災害に強い森づくりや地域の拠点となる身近な森づくり、次の世代を担う子ども達の活動を支援する募金運動に加えて、企業・団体等に対する協力要請やイベント等での募金活動を実施。

ウ 緑の募金状況

「緑の募金」区分別実績表

(単位：千円)

年度	家庭募金	家庭募金 以外計	内 訳					募金総額
			学校	職場	企業	街頭	その他	
H27	44,798	17,252	3,011	4,302	8,066	415	1,458	62,050
H28	43,806	16,530	3,193	4,424	6,965	358	1,590	60,336
増減	▲992	▲722	182	122	▲1,101	▲57	132	▲1,714
前年比%	97.8	95.8	106.0	102.8	86.4	86.3	109.0	97.2

(資料4-1：平成28年度「緑の募金」市町村別実績表)

(2) 緑の募金推進事業

緑の募金の大切さやその成果を明らかにするため、事業の実績、助成を受けた緑化団体、緑の少年団等の活動状況等をホームページや会報誌等により周知した。また、広く啓発用ポスターや標語を募集し、緑の募金活動に顕著な功績が認められた団体を表彰した。

ア ポスター原画・標語コンクール

国土緑化運動・育樹運動ポスター原画・標語コンクール表彰

(原画の部)：優秀賞 新潟大学教育学部附属新潟中学校1年

伊藤敬子(国土緑化推進機構理事長賞) 奨励賞9作品

新潟市立南万代小学校2年 白井文佳(国土緑化推進機構理事長賞)

(標語の部)：優秀賞 十日町市立松之山中学校3年 村山昭浩 奨励賞9作品

イ 緑化功労者表彰

緑化功労者理事長表彰：新潟県立村上中等教育学校ほか1団体

緑の募金表彰：佐渡市金井緑の少年団ほか2団体 (※地方植樹祭で表彰)

ウ 緑の少年団の育成及び緑の学校の支援等

緑の少年団の結成や活動等の支援及び子供たちを対象とした緑の学校の開催を支援。

① 緑の少年団の育成

緑を愛する心豊かな少年・少女を育てることを目的として結成された緑の少年団の活動を支援。

※H28年度団員数：49団体、2,268名(前年比149人減)

② 緑の学校支援

県と地域組織が連携して行う次代を担う子供たちを対象とした森林学習の機会の提供を目的に開催する「緑の学校」を支援。

開催実績：16校、参加人数621名 (前年度実績：14校、参加人数456名)

③ 緑の少年団設立

全国植樹祭を契機に「緑の少年団」設立の声掛けを実施

(3) その他

○国土緑化推進機構事業の活用

- ・森林環境教育促進事業(塩野町小学校)・緑の少年団活動促進事業(関川緑の少年団)
- ・学校環境緑化モデル事業(天王小学校)・ふるさとの森林再生事業(阿賀町、五泉市)
- ・ゴルファー緑化事業(十日町市美人林)・災害に強い森づくり事業(胎内市、阿賀野市)